

2022年6月14日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2022年 6月13日 基準価額(円)	2022年 6月14日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ツインα・コース	381	363	▲18	▲4.72
シングルα・米ドルコース	1,397	1,327	▲70	▲5.01

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2022年6月10日	2022年6月13日	騰落率 (%)
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	30.53	29.02	▲4.95

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、6月10日と6月13日を比較しています。

	2022年6月10日	2022年6月13日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	134.24	133.88	▲0.26

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、6月10日と6月13日を比較しています。  
為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

**◆足許の状況**

5月の米CPI(消費者物価指数)がインフレ加速を示す結果となり、FRB(米連邦準備制度理事会)による大幅利上げへの警戒感が強まったことや、北京や上海での大規模なPCR検査で新型コロナウイルスの感染者数の増加が確認されたため、社会活動や経済活動の再規制やサプライチェーンへの影響に対する懸念が拡大したことなどが投資家心理を冷やし、6月13日のブラジル株式市場は大幅に下落しました。また、通貨ブラジルレアルも米ドルに対して下落しました。このような市況の下、ファンドの基準価額は前営業日比で大幅に下落しました

**◆今後の見通し**

世界的なインフレ懸念を背景に、利上げ局面に入っている米国やブラジルに続いて、欧州においても金融当局が資産購入プログラムの終了と7月の利上げ実施を表明しており、急速な金融引き締めが世界的な景気減速につながるなどの懸念などから、株式市場では当面変動性が高まる展開が見込まれます。一方、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として行われてきた移動規制には緩和の動きが世界的に進んでおり、各国内外における経済活動のさらなる再開が企業業績の支えとなると見込まれ、過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場は落ち着きを取り戻すとみています。また、ブラジルにおいては5月までに10回連続で利上げを実施しており、利上げサイクルが他の新興国より一足早く終了するとの見方が台頭しています。ウクライナ情勢の深刻化と長期化への懸念も投資家心理を冷やす材料となっていますが、欧米をはじめ各国による対ロシアの制裁に伴う原油をはじめとした国際商品価格の上昇が資源国であるブラジルの株式市場のサポートとなることが期待されます。中長期的な観点では、若年層の構成比が高い人口構造を有するブラジルでは、国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、株式市場は成長軌道に乗っていくとみています。

以上

※ iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

### 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

#### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

#### 投資信託に係る費用について

##### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額の0.55%** または1口(設定時1口1万円)あたり **250円**

##### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年1.98%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

#### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。